

災害医療センターの 教育体制について



看護部教育の基盤となるもの

望ましい看護師像

『変化に柔軟で、自分自身に挑戦し続ける自律した看護師』

洞察力・アセスメント力・応用力・知識・技術を持ち、変化する社会、医療に適応し、あらゆる対象者に安心と満足を保障した看護を提供する。そのためには、自らキャリアビジョンを描き、学習を継続していくことが重要である。

看護部の教育理念

1. 独立行政法人 国立病院機構災害医療センターの理念、機能、看護部の理念に基づき、『変化に柔軟で、自分自身に挑戦し続ける自律した看護師』の育成を目指します。
2. 専門職業人としての成長・発達を支援し、知識と実践が統合できる教育的環境を提供します。



看護部教育の基盤となるもの

看護部教育目標

病院の機能、看護部の理念・基本方針、望ましい看護師像を踏まえ、教育目標は、次の6項目としています。

- 1) 安心と満足を保障した看護を提供できる看護職員を育成する。
- 2) 高い倫理観を持つ看護職員を育成する。
- 3) 変化する社会、医療において、あらゆる場面でリーダーシップを発揮できる看護師を育成する。
- 4) 災害時に医療活動できる看護師を育成する。
- 5) がん看護、クリティカル看護等、看護の専門性を追求する看護師を育成する。
- 6) 臨床・災害に関する研究的取り組みができる看護師を育成する。



キャリアラダー

当院のキャリアラダーは国立病院機構
看護職員能力開発プログラム ACTYナースVer.2
を基盤として作成しています。

看護職員能力開発プログラム

- レベルⅤ ・専門性の発揮、管理・教育的モデル
となり、研究的に取り組む
- レベルⅣ ・後輩の学習を支援する
・チームリーダーとしての役割行動がとれる
- レベルⅢ ・個別性を重視した看護を実践する
・看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる
- レベルⅡ ・根拠に基づいた看護を実践する
・後輩と共に学習する
- レベルⅠ ・看護実践に必要な基本的能力を修得する

レベルⅣ：看護部長

レベルⅢ：副看護部長

レベルⅡ：看護師長

レベルⅠ：副看護師長

幹部看護師任用候補者選考

看護管理者
能力開発プログラム

看護管理者になるための
研修や試験です。

理論と技術を持って、実践し、看護を創造する
～高い倫理観に基づいて～



研修プログラム

看護職員能力開発プログラム（ACTyナース）に
当院の三本柱（災害看護、クリティカルケア、がん看護）を
加えたラダー別の令和7年度研修プログラム

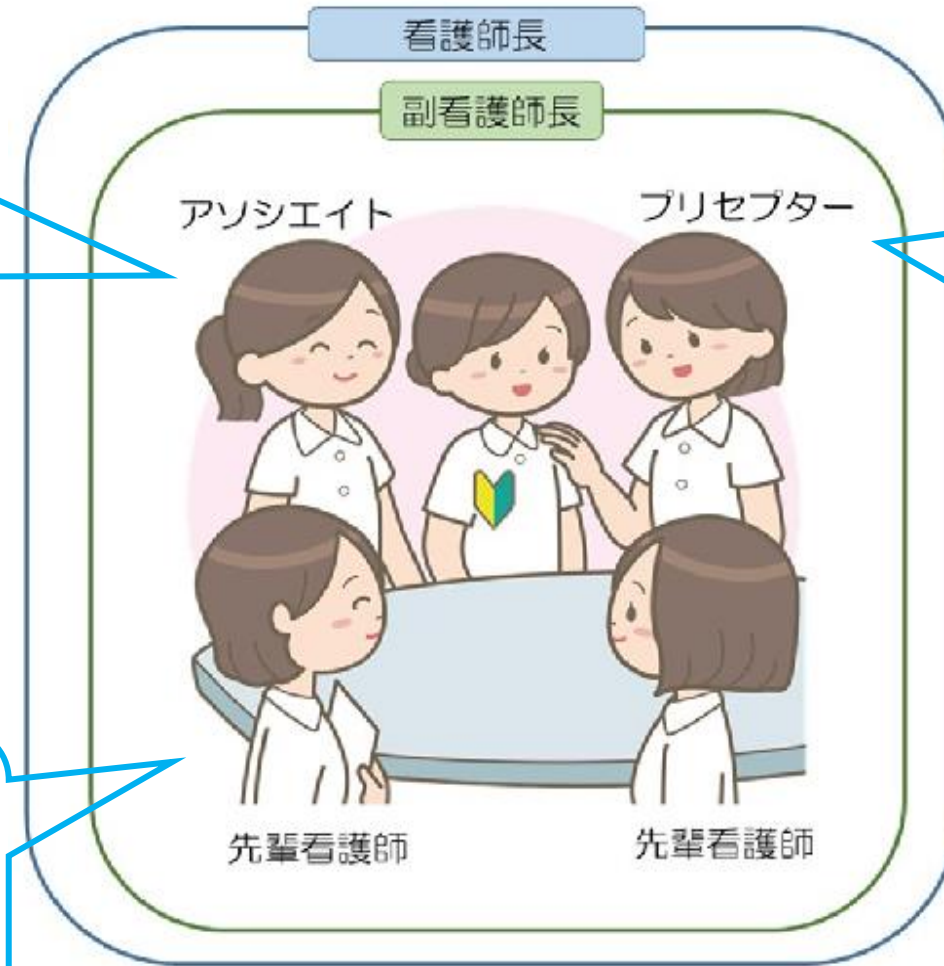
[illegible]

新人看護師への教育的支援体制

病棟全員で支援

教育計画の立案・周知
プリセプターへの支援

日々の看護実践場面の
指導者
ロールモデル



身近な相談者
看護技術修得への支援
一緒に知識習得

教育担当看護師長
教育担当副看護師長



新人看護師 全員と
面談をしています。

駆け込み寺として
病棟では言いにくい
ことなども、
相談を受けています。

新人看護師対象研修の様子



災害看護



排尿ケア/褥瘡予防とケア



急変時対応研修